



アニメイトの目指す『漢方自然療法』

題字を「健康ニュース」に変更してから早くも9回目の発行となります。お気付きとは思いますが、各号に「今月のテーマ」が掲載されています。今回9月号は「あん摩・呼吸法・運動」です。

これは、アニメイトの目指す『漢方自然療法』の「食養」「内服」そして「あん摩・呼吸法・運動」をより具体的に、関連する話題、商品も含めてご紹介することで、「家族の幸福は健康から。セルフメディケーションを通して家族の幸福を実現する」という社是の実現に取り組んでいる姿勢の一つの表れとご理解いただければ幸いです。

また、上記の内容に加えて、五行説の季節と五臓に関連した林方シリーズの紹介、また自分の体質をチェックする「陰陽五行セルフチェッカー」の結果をもとにご提案する内容など、話があちらに行き、こちらに行きする場合もあるとは思いますがご理解いただけますようお願い申し上げます。

「林方シリーズ」のそこが知りたい！にお答えして

お陰様で「林方シリーズ」が少しずつですが認知されてきています。スーパー STをご存知の方だけでなく、初めての方からも多くお問い合わせをいただくようになりました。そして質問される内容のほとんどが、「少しの量で早く結果が出たのですが、何が効いているのですか?」、「原材料植物はどこで採取しているのですか?」、「どのように製品化しているのですか?」という内容です。

それぞれに丁寧に回答しているのですが、ふと気がついたらここ数年現地の視察をしていなかった事に思いあたりました。そこで再確認という気持ちで2泊3日の急ぎ旅をしてきました。

台北から新幹線で嘉義へ、そして「林家」の自然農園を見学しました。熱帯の植物が生い茂って、昔と同じすごいパワーを感じますが、周辺の観光地化がますます進んでいるのが少し残念です。

原料植物の採取は、今では阿里山に入らないと良いものが集められないようで、台湾でも近代化のため天然自然の植物の採取には苦労するようになったそうです。

「林方シリーズ」の結果が出る早さは、漢方由来植物のミネラルのおかげですと常日頃言っていますが、現地をみる限り少し苦労が増えましたが心配ない事を再確認しました。

そして、「林家」に代々伝わる“低分子加工法”の確認です。何度の発酵を重ねて、不要なもののない植物ミネラルパウダーを抽出する製法ですが、生のパイナップルを使用した「キレート製法」が

ポイントです。

「キレート製法」というのは、パイナップルジュースでキレート物質をつくるのですが、ここでキレートについて簡単に説明します。

例えば、鉄分不足の人がいたとします。もしも、この人が鉄パウダーを飲んだりしたら、臓器はとんでもない障害を受けることになります。

鉄不足の人は、例えば鉄製中華ナベで「レバ+野菜」を調理し、それを食べると良いとされています。この場合、調理の火力によって分解されて生じたレバや野菜のアミノ酸に、中華ナベの鉄分・レバの鉄分・野菜の鉄分が結合するので、小腸からの鉄分吸収がスムーズになっている、と見ることができます。

このようにミネラルの搬入・運搬のために働く物質を「キレート物質」といいますが、「林方シリーズ」ではパイナップルジュース中の酵素「プロメリン」が植物のタンパク質をアミノ酸にまで分解し、これをキレート物質に仕上げていくことになります。

久しぶりの再確認の視察でしたが、最後に「林方シリーズの力を一言で言うと?」の質問には、こうお答えします。「漢方由来の、五臓を動かす植物ミネラルの力です」。



暦の話 (二十四節気)
白露 9月8日(火)

夜の内に大気が冷え込むようになり、野の草に宿る白露(しらつゆ)も、秋の風情を感じさせる頃。



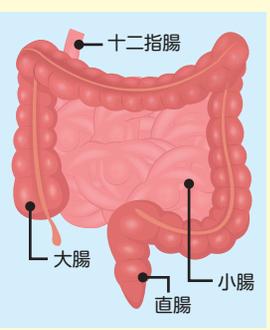
野にはススキの穂が顔を出し、太陽が離れていくため空が高くなるなど、本格的な秋の到来を感じられる頃です。日中はまだ暑さが残りますが、朝夕の涼しさの中に肌寒さも感じ始めます。

おもしろ! 五臓六腑

しょう ちょう 小腸

小腸は、十二指腸・空腸(くうちょう)・回腸(かいちょう)からなっていて長さは6~7mあるとされていますが、生きている時は2~3mに収縮されているそうです。この長い小腸は、腸間膜(ちょうかんまく)によって腹腔(ふっくう)の後壁に固定されています。腸間膜の中には血管や神経、リンパ管が通っています。

小腸の働きは、胃や十二指腸で消化された食べ物の栄養素を吸収することで、小腸粘膜表面の絨毛(じゅうもう)という突起から、炭水化物はブドウ糖、蛋白質はアミノ酸、脂肪は脂肪酸とグリセリンとして吸収され、門脈を通り肝臓に送られます。



小腸の病気と検査

小腸にはがんがないように思われています。確かに発生頻度は全消化管がんの2%と多くはありませんが悪性度は高く、腫瘍の60%はがんだそうです。腫瘍はポリペクトミー(内視鏡によるポリプ切除)が可能なものは切り取ります。また、腸閉塞は、小腸、大腸に多い病気です。腸閉塞は、腸の内側又は外側の原因で腸が詰まり内容物が全く先へ進まない状態です。特徴的な症状は激しい腹痛、便秘、おならが出ない、嘔吐などです。小腸の検査にはX線や腹部超短波などがあります。

はい
「肺」の季節は
立秋(8月8日)～立冬の前日(11月7日)

りん ぼう
林方シリーズ はい
肺系 K



秋は肺臓の季節です。大事な肺臓を手助けしてくれるのが「林方シリーズ」の「K」です。冬に向かって、冷気を含む空気が朝夕日増しに多くなります。肺は寒さが苦手です。暖かくして「K」の力を借りるのも良い方法だと思います。

突然宣告されたがん…

東京都 S.Sさん 60代

毎年の健康診断は欠かしたことがなかったのですが、58歳の年の健康診断で転移しているがんが見つかったのです。乳がんが、リンパ節まで転移している状態でした。



病院からは、「抗がん剤治療以外、治療法はありません」と言われました。

仕事はあと2年で定年になります。このままで死にたくないの、自然に「治療を受けます」と軽く返事をしました。

噂通り、抗がん治療は、副作用が強くて、続けるのに体力が限界になっていき、うつのような症状も感じるようになってしまいました。

この時に、娘が友人からすすめてもらった1冊の本「慢性症状ズバリ解決」に紹介されていた漢方を試してみました。さっそく2種類を朝晩2回飲むようにしたところ、1ヵ月位でだるさ、むくみが良くなった気がしました…

4ヵ月経過した頃、がんの縮小が判明し、転移も消失しました。病院の抗がん治療と漢方を並行しようとした最初の判断が私にとっては良い結果となりました。

2年半経過した現在、再発もなく、毎日元気に過ごしています。

林方シリーズ 通容

頑固な便秘に…



30g(180mg×約170粒)
小売価格 ¥12,000(税別)

スーパー STを飲み始めてから「便通が良くなった」とか「長年の便秘が解消しました」という声は耳が痛くなるほど聞いていますが、一方では「スーパー STを飲んでも便通が良くなりません」という方もたまにです。が、いらいやいます。

原因は、それぞれに違うのですが、共通しているのは、10年以上の便秘そして今では便秘薬を飲んでも思うように出ないということです。

そのような方に用意されているのが「通容」です。

頑固な便秘解消のためのものですから多くの方に必要なものではないかと思、これまではあまり紹介はしていませんでしたが、最近頑固な便秘で悩む人が多く登場されていますので、ここに改めて紹介します。

漢方の知恵
から学ぶ

冬の病を夏に治す

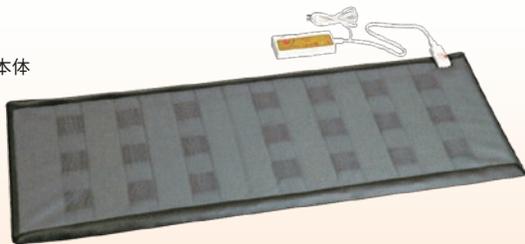
漢方には「三伏天」という言葉があります。暦の上で「夏の最も暑い時期(7月中旬～8月下旬)」を指す言葉で、この暑い時期にお灸をして免疫力を高め、冬の時期の各種の疾病対策をするという風習があるそうです。

晩秋から冬にかけてかかりやすい病気の多くは、肺の病気で「風邪」、「気管支炎」、「喘息」、「肺炎」などです。

暑い時期に体を熱くすることはつらい事に思いますが、夏は身体の気が旺盛なので、少しのエネルギーでも最大の効果が得られるのだそうです。

お灸は簡単にはできませんが、「岩盤浴」ならご家庭で身体を芯から温めることができます。肺は寒さが苦手です、寒くならないうちに芯から体を温め、免疫力を高め呼吸器の病気にかからないようにご注意ください。

マット本体



専用カバー
(オプション)



岩盤浴
ご湯るりと

レンタル(7日間)を
ご利用ください
1回 ¥5,000(税別)

お問い合わせは(株)アニメイトまで

ご湯るりとの特徴

1. 秋田県玉川温泉の岩盤浴

玉川温泉の岩盤浴に限りなく近づけることができた「ご湯るり」。



2. 微量放射線量による「ホルミシス効果」

ラジウム(放射性物質)等の物質は微量では人体に対してバランスのとれた有益な刺激を与える効果があるといわれています。

3. 遠赤外線効果

体の芯まであったまる。漢方では体を温めることが一番の治療法とまで言われています。



4. マイナスイオン効果

空気のビタミンと言われるマイナスイオンには、自律神経調整、血液浄化、血行促進、免疫力強化、細胞活性化など様々な作用があるとされています。

本紙の内容についてのお問合せは発行元又は下記取扱店までお願い致します。



スーパーSTの
五箇条

- ミネラル重視
- 低分子化
- 排便・排毒の重視
- 肝・胆・脾と血流改善
- 病名にとらわれない

「スーパー ST」はお陰様で20年目を迎えました

発売から20年目を迎えた「スーパー ST」の現在までを振り返っていきます。今回のテーマは⑤「スーパー STの働き」です。

日本は高度経済成長の達成と引き換えに大気汚染、水質汚染、食品添加物の氾濫という環境の中で生活しなければならなかった。

「台湾で子供の時に受けた日本の教育のお陰で今の自分がある」と日本に感謝している林進徳先生が憧れの日本に初めて来たのは1977年、環境汚染・食品汚染が社会問題化してきた真只中でした。

「今の日本人はこのままでは元気で長生き出来ない」と、漢方の健康の基本である「まず体の中を綺麗にしてから栄養を入れる」という考えを徹底して日本人に教えました。今というデトックス(体内解毒)です。その考えが「スーパー ST」の開発につながるのです。